

頒賜

国王

紗帽一頂 展角全

金廂犀束帶一条

常服羅一套

大紅織金胸背麒麟円領一件

青裾襪一件

緑貼裏一件

皮弁冠服一副

七旒阜皴紗皮弁冠一頂 旒珠金事件全

玉圭一枝袋全

五章絹地紗皮弁服一套

大紅素皮弁服一件

素白中単一件

纏色素前後裳一件

纏色素蔽膝一件 玉鈎全

纏色粧花錦綬一件 金鈎玉玳瑁全

紅白素大帯一条

大紅素紵糸舄一双 襪全

丹髷紅平羅銷金夾包袱四條

紵糸二匹

黒緑花一匹

深青素一匹

羅二匹

黒緑一匹

青素一匹

白襪糸布十匹

妃

紵糸二匹

黒緑花一匹

深青素一匹

羅二匹

黒緑一匹

青素一匹

白襪糸布十匹

広運

嘉靖十一年（一五三二）八月十七日

之宝

1-02-04

皇帝の、故国王尚真に対する諭祭文と祭品目録（一五三二）

崇元寺に於て祭礼を行う。是れ其の祭文なり。左に記す。

諭祭文

維れ嘉靖十一年（一五三二）歲次壬辰 月 朔 日、皇帝、

酒三瓶

正使吏科左給事中陳侃・副使行人司行人高澄を遣わし、琉球国中山王尚真を諭祭せしむ。曰く、惟うに、王、海邦を嗣守すること四十余載、天を敬い上に事え、誠に恪みて渝らず、宜しく寿年を永くし、朕の藩屏為るべし。胡為れぞ疾に遭い遽爾に告終せるや。訃音来聞し、良に用て悼惜す。官を遣わして諭祭し、特に殊恩を示す。靈は其れ有知なれば、尚わくは克く歆服せよ。

祭品

牛一隻

猪一口

羊一控

饅頭五分

粉湯五分

蜂糖糕一盤

象眼糕一盤

高頂茶食一盤

響糖五個

酥餅・酥錠各四個

纏碗五個

降真香一炷

燭一對 重さ一斤

焚祝紙一百張

注 (1) 崇元寺 那霸市泊にあった臨濟宗の寺で、尚家の廟所。歴代

国王の靈位を祀る国廟であった（『大百科』）。なお以下より「左に記す」までは琉球の覚書きである。

(2) 嘉靖十一年三月朔 日 陳侃『使琉球録』によると、諭祭は嘉靖十三年六月既望（十六日）に行われた。

(3) 歆服 歆承に同じ。

(4) 祭品 この祭品は（〇一三〇）と同じである。同項を参照のこと。

1-02-05 皇帝より世子尚元へ、倭寇に虜掠された中国人の送還を受け、賞賜する勅諭（二五五八、二、一七）

皇帝、琉球国中山王世子尚元に勅諭す。

近ごろ該提督福建軍務都御史阮鶚、題して称すらく、世子国の差来せる正義大夫等の官の蔡廷会等の呈に拠るに、倭寇の風を被り漂流せる船隻、世子の国境内に至る。土官の馬必度等、乃ち能く火を放ちて船を焼き、格殺して殆ど尽くす。内、中国の被虜の人民有り、蔡廷会等をして管送し前来せしむ、と。具に、世子の奉藩の忠順なるを見、朕、用て嘉悦す。茲に特に勅を降して奨諭す。仍お白金・綵段を賜いて以て忠勞に答え、就ち蔡廷会をし